

新型コロナウイルス感染拡大に伴う主日礼拝の休止について

2020年2月28日

横浜教区主教

主教イグナシオ入江 修

✠主の平和

新型コロナウイルスの国内での感染拡大を防ぐため、政府は24日に専門家会議を開き、「これからの1～2週間は、急速な拡大に進むか収束かの瀬戸際」とする見解を公表し、大多数の人が集まり濃厚接触の可能性のある集会やイベントなどの自粛を求めています。

そうした中で本日夕方、安倍首相より、全国すべての小中学校と高校、特別支援学校について、3月2日（月）から春休みまで臨時休校とする要請が出されました。

教区としましても感染のリスクを避けるべく、その対応を皆さまにお願いして参りましたが、更なる感染のリスクを避けるため、以下の対応をお願いいたします。

1. 3月1日（日）と8日（日）の主日礼拝（聖餐式・み言葉の礼拝）は休止とする。
2. 葬儀につきましては、十分な感染予防の対策を取った上で、執り行う。
3. 3月1日から12日（木）までの間、礼拝・集会は、ごく小規模のものに限る。（詳細は牧師（管理牧師）の判断に委ねます。）
4. 飲食を伴う集まりは、それに伴う濃厚接触の可能性が排除できないため自粛する。
5. どうしても必要と判断される礼拝・集会・会議などにつきましては、感染拡大の防止に充分留意の上、各教会でご判断ください。

なお、これは、現時点では3月12日（木）までの対応とし、限定した期間終了前に今一度、判断をいたします。礼拝出席に伴う移動中の感染の可能性や礼拝中の濃厚接触の可能性のリスクを考慮した上でのことであり、感染拡大防止のための緊急避難措置ということで、皆さまのご理解をよろしくお願いいたします。

主にありて